

## 『社会を明るくするために』

小城市立小中一貫校芦刈観瀾校8年 本村 寧彩

私は、あまり犯罪について深く考えた事がありません。最近、人が殺されたり、自殺するという事件をニュースで見ました。普段、ニュースを見てもあまり興味をもたないですが、この作文を書く事で、深く考えるようになりました。

まず、法を犯した犯人は、とても許されないと思います。特に人を傷つけたりなど、他の人もまきこんでしまう事件は私もとても嫌で悲しい気持ちになってしまいます。しかし、犯人も、もともと悪い人ではなかったのではないかと思います。非行をする人達もいじめや虐待など他の人達の無責任な行動のせいでとても傷つけられてその怒りがたまって法を犯すようになるんだと思います。なので犯罪を犯すような人達の周りにも何かしら問題があるのかと考えるようになりました。

私が小学校の時、少し問題があった事があります。小学生高学年ぐらいにクラスの半分ぐらいは、スマートフォンなどのインターネットをもつようになりました。そこで何人かの人はLINEというアプリを入れるようになり、そこで少し問題があるようになりました。人の悪口を言ったり、人を不快にするような発言で問題になったりしたので気をつけようと思いました。人と直接会っていなくても写真を見せてトラブルがあるなどある人と関係がなかったらあまり、よけいな事を、しないように気をつけるべきだと思います。

私もよくけんかを友達としていましたが、そのけんかがいじめとなって自殺する人もいます。そんな事にならないように自分が相手の気持ちを考えるのが大事だと思います。なので日頃から人と仲良くするためにちょっとずつ関わり

をもつようにしたいです。具体的には、あいさつをしたり、困っている人を助けたりするという優しさや思いやりで少しでも自分の町が良くなるのではないかと考えています。また、人の役に立つボランティアなども良いと思います。犯罪をした人、しようとする人は許されないと思います。しかし、犯罪をした人にも何かしらの理由があり、その理由が周りにいる人のせいなのかもしれないので、もしかしたら、自分がその原因になってしまうという事もありえる事です。これ以上多くの人を傷つけ悲しませないようためにも自分達がこころがける事が大事だと思います。「自分は関係ないなど、自分が悪い事をした時は、ちゃんとあやまって、反省をすること、自分がうれしい事をされたら、「ありがとう」という感謝の気持ちを伝えて、より良い社会を目指していきたいと思います。

思います。